

# 読むだけで、元気になるレポート

パートナー 村松 達夫

皆さん、こんにちは。今年のGWはスゴイです。中には10連休というところも結構あるようです。さて今月もご笑読頂ければ幸いです。

## 【今月の発見】

### 0か100かじゃない!

「0か100かじゃない!」これは和仁さんから良く聞いていた言葉でした。それが最近になって、ようやく自分の腹に落ちてきて、自分自身に言い聞かせたり、クライアントさんへのアドバイスに使ったりしております。そこで、今回はこの「0か100かじゃない!」ということを経営シーンで意識することのメリットをお伝えしたいと思います。

それは一言で言うと、

**「人より数倍のスピードで成果を出すことができる」**

です。

一体どういうことなのか?まずは私のコンサル現場で実際にあったエピソードをロープレ風に取り出してみましよう。

社長「うちのスタッフは接客が全然出来ません。どうしたらいいのでしょうかねえ。」

村松「それは社長がまずスタッフの接客は出来ている、と考えることです。」

社長「えっそんな!全然出来ていないんですから、無理ですよ。」

村松「ではお聞きしますが、出来ていない、と言いますが点数でいうと何点ですか?」

社長「そうですね、悪いですよ、ハッキリ言って40点です。」

村松「ということは『40点出来ている』ということですよ?」

別に言葉の遊びをしている訳ではありません。またポジティブ思考の話でもありません。この例のように40点出来ている、と考えることによって、残り60点分だけ対策を打てばよくなるのです。しかし多くの場合、満点(100点)以外を全然(0点)と表現してしまうため、いつまで経っても、0からの再教育になってしまうのです。そうではなく、出来ていない部分だけに特化すれば人より数倍のスピードで成果が出せるのではないのでしょうか。是非、お試しあれ。